

2023.4
Vol.120

にいだがわつうしん 新田川通信

発行元：(有)佐藤建業

南相馬市原町区北新田字広田170

Tel：(0244) 22-7619

Mail：info@sato-kengyo.jp

http://www.sato-kengyo.jp



今 新田川では 股田川

基幹農道
力ヨウ線



マスコットキャラクター
「くもっくる」

ここは飯舘村草野字カヨウ地区の川です。
川の名前は「股田川」、この辺りの地名は「字マタノ川」。
原町・川俣線を西に向かい、飯舘に入って最初の「草野橋」
から北に折れ、道なりに進み、やがてマタノ川地区から
カヨウ地区に着きました。
この辺りはいたる所に沼が点在しています。
花曇りの3月下旬、ふきのとうが大きく背伸びしていました。
車を進めると、左の写真のようなかわいいお堂を
見つけました。「くもっくる堂」です。
『渋谷フラワープロジェクト飯舘果樹園』
この果樹園は飯舘村と東京・渋谷との交流の場
で、渋谷公園通りには一年を通じて飯舘の花が
咲く花壇がある・・・などと刻まれています。
ここには動物除けの柵が設けられ、リンゴと
サクランボが植えてあります。手入れは地元の方
と渋谷区の有志の方で行っていると、
飯舘までい大使の方からお聞きしました。
機会がありましたら、ちょっと立ち寄ってみて
はいかがでしょうか？
興味のある方は「くもっくる」で検索して
みてください。

大工さん 今日は何んなお仕事？



既存のキッチン
を解体し、壁も新しく
して新規のキッチン
を取り付けします。



吊戸棚はハンドムーブで目の前に降りてくるので
使い勝手がアップ♪
下の写真は完成したばかりで養生されていますが
色合いが明るい気分も明るくなりますね(^_^)



完成です！

《社員紹介コーナー》

事務長の
孝子です



今回は私、佐藤孝子です。
昭和27年生まれ。
ワカイ...と思っていたのに
いつの間にか。でも心は二十歳。
写真は大きくても被写体は小さく!!
下戸で趣味は手仕事、野菜や
ゆり育てが楽しみです。
孫たちといっぱい遊びます。
平成14年に創刊した新田川通信は
今回で第120号となりました。
私共とお客をつないでいます
でしょうか？
読んで頂ける皆様がいらっしゃるから
続けられます。
現在は強力な若者と二人三脚で
取り組んでいます。
今日は宛名のシールを貼っていました。
お手元に届いた時は、
「ああ、また届いたな。」
と読んで頂ければ嬉しいです。

ご入学、ご進級
おめでとうございます

- ♥ 夜遅くまでの勉強...
お風呂はまだ温かいですか？
《高断熱浴槽》
- ♥ パソコン用に
《コンセントの増設》
- ♥ 勉強のための
《床暖・防音・遮音》
- ♥ 勉強のための
照明器具は十分ですか？
《LEDライト》
- ♥ 新しいお友達を呼んで
おやつ作りに《IH》
- ♥ ラクラク朝シャンに...
《エコキュートと洗面台》
- ♥ 自転車が雨ざらしでは
かわいそう...《自転車置場》
などなど...

お子様の成長に伴って
模様替え、収納の増設
などが必要になってきますね。
入学、進級の喜びをご家族と一緒に☆
佐藤建業がお手伝いします('ω')ノ
☎(0244) 22-7619

《大工さんのアイテム》 釘打ち機・ビス打ち機

釘やビスを大量に打ち込む大工さんにとって必須のアイテム…釘打ち機・ビス打ち機。一般的なものと、エアコンプレッサーに繋いで空気の力で釘やビスを打ち込んでいきます。円筒型の銃弾のように、コイル状に巻かれた連結釘をマガジンに装填して使います。見た目も用語も銃みたいで怖い感じがしますが、先端を押し付けないと釘が発射されない安心設計。よく見かける高圧タイプだけでなく、バラ打ちの電動タイプという面白い物もあります。



←バラ打ちの電動工具。せまい場所で活躍します。



←これはビス打ち機。壁材として石膏ボードを貼り付けるのにビスを沢山使います。電動ドライバーでも時間がかかるため、これで一気にビスを打ち込んでいきます！

▼ロール釘の種類



↑斜めコイル(ワイヤ連結釘)



↑フラットコイル(ワイヤ連結釘)



↑フラットコイル(プラスチック連結釘)

省エネ / 福島
家電購入
応援キャンペーン
買い替えなら今がチャンス!
節電効果の大きい省エネ家電の購入を支援!

CHANCE!!! CHANCE!!!

省エネ家電への買い替えは今がチャンスです!!!

申請の仕方なども簡単で、サポートしますのでご安心を!!!

■購入対象期間：令和5年2月27日～令和5年7月20日

■対象品目：エアコン（最大 40,000 円）
電気冷蔵庫（最大 40,000 円）
LED照明器具（最大 5,000 円）
エコキュート（最大 80,000 円）

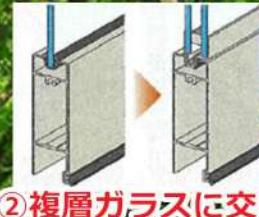
※佐藤建業は地域協力店のため、**上記ポイントが2倍**になります！

■キャンペーン内容：ポイントは、キャッシュレスポイント、または商品券に交換できます。

※詳しくは「家電購入応援キャンペーン」で検索、またはパンフレットをご覧ください。

～先進的窓リノベ事業のお知らせ～

先進的な断熱性能の窓に交換するリフォームに対して経済産業省から支援があります。
補助額は工事内容により、1戸5万円から最大200万円まで。
期間は令和5年12月31日まで。
(期間内でも予算の上限に達すれば終了なので注意!)



【工事内容】（外気に接する住宅の開口部に設置する工事）

- ①内窓設置・・・既存窓の内側に新しい窓を新設する
- ②複層ガラスに交換・・・既存窓を利用して、複層ガラス等に交換
- ③外窓交換・・・既存窓の枠を残して、新しい窓に交換
- ④カバー工法・・・既存窓を取り除き、新しい窓に交換



春まつ盛りですね。
そこで、冬眠から目覚めた蛇と蛙のお話をどうぞ。

蛙の恩返し (福島県民話)

ざっとむかし、あるところに一人の木地師（きじし）の男があった。その男は、ろくろを使い、木でお椀や丸いお盆などを作る技術を持っていて、木のある山奥（飯豊山）に暮らしていた。

ある時、その男が山道で、蛇が蛙を呑み込もうとしていたと。かわいそうに思えて、蛇に「どうぞその蛙を助けてやってくれ。俺は修業中だが、三年経てば一人前になりお前を養ってやる。」蛇は男をじいっと見たあとで、口を開けて蛙を離したと。「聞きわけてくれたか、ありがとう。」と言うて、蛙が行ってから、男はその場を立ち去ったと。

それから三年、一人前の木地師になったと。お椀の元の粗削りをしていたら、きれいな娘が訪ねて来た。そして「三年前のお約束。どうぞ女房にしておくれ。」と言うた。「はて、俺はお前がどこの誰かも知らんのに、そんな約束などした覚えはないが…」すると、娘は袂（たもと）で口を隠し、目を細めて男を見た。「ん、その目は見たことがある。」「思い出しておくれかえ。」「それじゃあ、お前はあの時の…」「はい、あの時の。」男ははっきりと思い出した。確かに養うと言うた。今さら取り消しも出来ん。男はその娘を女房にしたと。



女房にしたが、まめまめとよう働くし、面倒見もいい。男は、不満はないのだが、ときどき女房に目を細められるとやっぱりあの蛇だ、と思うた。それが氣病（きや）みとなって、とうとう病気になったと。ある日、片足をひきずり歩く遍路さんが、男の家の前に立って「この家には床に臥（ふ）せている病人があるな。」と言うた。女房が「はえ。」と言うと「治し方があるが知りたいか？」と言う。女房は掌（てのひら）を合わせて「ぜひ教えておくれな。」「ですが、聞いたからには女房どの、必ずやりとげなければ病人はさらに悪くなりますぞ。やりとげまするか。」「はえ、きっと。」「では、あの山の頂（うえ）あたりに大きな木があるが、見えるか。あの木のてっぺんに鴻（こう）の鳥の巣がある。見えるか。」「はえ、かすかに。」「あの巣の中の卵を病人に飲ませれば病気は治る。取って来られようか、女房どの。」「そんなことならお易（やす）いこと。」女房はにっこり笑うて大きな木のところに着いて、あっち見い、こっち見いして、あたりの気配を気にしながら、本性の蛇の姿になって、スルスルと木を登って行ったと。巣には、卵が三つあった。さて卵を喰わえようとした、その時、鴻の鳥がバッサと空から降りてきて、たちまち蛇は喰われてしまったと。男は遍路さんと一緒にその様子を見ていたと。蛇が喰われてしまったら、遍路さんは木地師の男に「これで、三年前に命を助けて頂いたご恩を、ようやくお返しする事が出来ました。」と言うて、蛙の姿になって帰って行ったと。

(なんだか蛇がかわいそう…)